

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
201	論理国語	3	2	総合学科	必修

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
② 思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・筆者が述べようとしていることを積極的に理解しようとしている。
評価の方法	
論理的、批判的に考える力の伸長度や創造的に考える力の達成度、知識・技能の習得状況等を学期ごとの考查や課題等によって、多面的に評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	考える手がかり	「ふしぎ」ということ	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	○		
			・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。		○	
5	働く喜び	楽に働くこと、楽しく働くこと 情景の中の労働 鉄、千年の命	・論証したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○		
			・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。		○	
			・本文のテーマについてそれぞれの立場に基づく考えを理解し、「働くよるこび」について自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。			○
	広がる風景	世界をつくり替えるために	・論証したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。	○		○
6	現実の中で	安心について	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	○		
			・論証したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○		
7	考える手がかり	書く ・資料を整理し、テーマを吟味しよう	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	○		
			・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。		○	
			・学習の見通しを持って収集した資料の論点を整理し、テーマを見通して、適切なテーマを設定しようとしている。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	人間と知性	学ぶことと人間の知恵	・ 論証したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○		
			・ 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに必要な情報を関係付けて自分の考えを深めている。		○	
			・ 人間の思考や学ぶことの意義をコンピューターと比較することによって、筆者の意図と自分の考えを整理し話し合おうとしている。			○
	考える手がかり	少女たちの広島	・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	○		
			・ 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。		○	
			・ 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を活かして戦時下の人々の日常と自分との接点に考えを深めようとしている。			○
10	現実の中で	書く ・ 仮説を立てて検証しよう	・ 推論の仕方について理解を深め、使っている。	○		
			・ 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用に理解を深めている。		○	
			学習の見通しをもって情報を収集・整理・分析することによって、仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。			○
11	新しい視点から	短い論文を書いて読みあおう	・ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	○		
			・ 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。		○	
			・ 積極的に情報の収集や整理を行い、適切な資料を選ぶことで問いを持ち、今までの学習を生かして構成や展開を工夫して、書いた論文を読みあい交換した意見を踏まえてより良い論文に仕上げようとしている。			○
12	時代を開く	豊かさとは多様性	・ 論証したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○		
			・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。		○	
			・ 粘り強く、叙述に基づく筆者の主張を捉え、生物多様性の重要性と課題について、理解を深めようとしている。			○
1	知のゆくえ	もう一つの知性	・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	○		
			・ 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用に理解を深めている。	○		
			・ 「読むこと」により、設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げ深めようとしている。		○	
	豊かな認識	科学的「発見」とは	・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	○		
			・ 「読むこと」において、人間、社会、自然などを、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。		○	
			・ 文章の種類に基づく効果的な段落や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	○		
2	豊かな認識	資料を活用して論述しよう	・ 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。		○	
			・ 粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題を設定し、学習の見通しを持って資料の価値づけを行い、自分の意見を明確にして論述しようとしている。			○

